

第2回 西蒲区自治協議会 議事概要

日時：令和6年5月28日（火）

午後1時00分～午後3時15分

場所：巻地区公民館 3階 小ホール

<p>事務局 (藤田補佐)</p>	<p>これより令和6年度市長との懇談会を開催します。</p> <p>本日の出席状況についてご報告します。委員29名のうち、26名の出席を確認しています。</p> <p>過半数の出席を確認しておりますので、新潟市区自治協議会条例第9条の会議の運営規定を満たしておりますことをご報告申し上げます。</p> <p>また、傍聴については2人、報道については新潟日报社さま、建設速報社さまが来場しております。</p> <p>事務局及び報道機関で写真撮影ならびに録音をしますので、ご了承をお願いします。</p> <p>それではこれ以降の会議については、新潟市区自治協議会条例第9条の規定により、吉田会長より議長として進行をお願いします。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>皆さまこんにちは。本日はお忙しいところ中原市長からご出席をいただいております。ありがとうございます。</p> <p>今回の市長との懇談会での発言については、自治協議会委員のみとなりますし、前回お話ししたとおり、各部会で取りまとめていただいた質問を各部長が発言をして、中原市長からご回答いただくかたちになります。</p> <p>時間の関係で、ほかの委員からの挙手というかたちはとりませんので、よろしくをお願いします。</p> <p>それではさっそく、中原市長、よろしくをお願いします。</p>
<p>(中原新潟市長)</p>	<p>皆さまこんにちは。今日はよろしくをお願いします。この自治協の懇談会は、今年の3月に実施をしようと考えておりましたが、元旦の日に地震が発生いたしまして、災害対応で時間が取れないということで延期をさせていただいてまいりました。</p> <p>また、吉田会長になりまして、初めての自治協議会の皆さまとの会合ということでこれからまた皆さま方に大変お世話になります。どうぞよろしくをお願いします。</p> <p>今日は自治協の定例会議の前のお時間をいただきまして、約1時間こちら側の説明と、皆さま方とのご意見をやり取りさせていただきたいと思っております。</p> <p>1月1日に能登半島地震が発生しまして、早いもので5か月ということになります。新潟市といたしましては市役所一丸となって、復旧・復興に全力に取り組んでいるところであります。</p> <p>今日は地震を含め、今年度の予算などについて、皆さま方に説明をさせていただきますので、どうぞよろしくをお願いします。</p> <p>それでは着座にてこれから説明をさせていただきます。</p>

皆さま方のお手元の資料の 1 ページをお開きください。地震の発生から 4 か月半が経過しました。

この地震では、ご承知のように液状化現象によって道路の隆起や陥没、建物の傾斜や沈下などの被害が多く、大変深刻で特に西区の砂丘沿いや川沿い、江南区や中央区の一部で被害が集中的に発生しております。

この被害地域と国土交通省が「液状化しやすさマップ」というものを作っておりますが、この危険地域が重なっており、いわば、想定地域の一部で今回の被害が実際起こりました。

2 ページをご覧ください。発災後、これまで応急的な対策に取り組んでまいりました。今後は応急復旧から本格復旧に向けた施策を総合的、かつ計画的に進めていこうということで、4 月 1 日に「令和 6 年能登半島地震 新潟市復旧・復興推進本部」を設置したところです。

また、本部の中に生活再建支援チームを立ち上げました。

被災相談窓口の情報や、市の業界への聞き取り調査などによりますと、被災者の中には生活再建の見通しが立たない方や、支援を受ける手続きなどがまだ分からないという方もいらっしゃいます。

4 月末の住民説明会の開催や被災された方の自宅への戸別訪問。民生委員による声かけなど行いまして生活再建に取り残される世帯がないよう、被災された方に寄り添ってきめ細やかな支援を行っていきたくと考えております。

3 ページです。被災者への具体的な支援の内容です。家屋被害が非常に多く、また、1 軒 1 軒、被害の状況も異なります。

そうしたことから、地震発生直後から、国や県の支援策に加え、これでも支援の手が届かないところに対しまして、新潟市独自の支援制度を用意してまいりました。

特にこのたびは液状化ということで被害は住宅だけでなく、車庫ですとかカーポート、門扉などにも被害が及んでいましたので、その修理に対し、赤字で記された「市独自」と書いてありますけれども、市独自支援策として、最大 100 万円。傾いた家を直す場合に地盤改良を実施する際には 50 万円。住宅の建て替えや購入をする場合は、最大 100 万円を支援することにしました。

また、私道。これは公共のものと違いますけれども、そこにはインフラが埋まっているということなども考慮いたしまして私道の復旧への全額助成も協議のうえ、市が行うことにいたしました。

まずはこれら国・県・市と支援制度と被災者をしっかりつなぎ、被災者に生活再建を行っていただく、あるいは先の見通しを持っていただけるよう取り組んでまいりたいと思います。

4 ページです。地震被害の対応として、まずは資料左側の、「復旧」のところをご覧ください。

被災された方々はいろいろ事情があると思いますが、日常生活を取り戻

すために自宅の修繕や建て替えを、まずは新潟市としては進めていただきたいと考えております。

一方で、市の道路被害は少なく見ても約 32 キロ。下水道は 14 キロにも及んでいます。

道路・下水道の復旧については国の査定がようやく終わりました、現在、測量に着手しています。

6 月頃から地域ごとに道路と民地との境界や、民地等道路の高さを住民の皆さまにお示し、確認をしていただきます。

その後、詳細設計を行い、秋頃から復旧工事を開始し、全体の完成まではですね、おおむね 2 年くらいはかかるかなというふうに想定しております。

そして、資料右側の、将来への備えというものは、この道路や下水道の復旧が終わった後、将来の地震に備えるために中・長期的に住宅や道路の一带の液状化対策事業に取り組んでいきます。

被害範囲は広範囲に及びますが、液状化の被害が特に大きかった地域を対象として、液状化しにくくするための事業の実施に向けて検討していくものになると思います。

今年度は地盤工学などの専門家による調査を開始し、そして、この事業ができる地域や手法の検討、そして、住民の皆さまから合意を得る作業など、多くのプロセスを踏んでいくこととなります。

工事を着手するまでで早くても 2 年から 3 年と、非常に時間のかかる、新潟市役所としても大事業になると考えております。

ただし、安心して安全なまちづくりに向け、着実に検討進めたいと考えております。

ここまでが地震関連で 5 ページです。5 ページからは令和 6 年度の新年度予算です。予算の規模はそこにお示ししてあります、4,185 億円となりました。

令和 6 年度は令和 5 年度の補正予算と合わせ、15 か月予算として具体的に編成し、災害からの復旧に切れ目なく取り組みながらご覧の力点 1 から 3 と書いてありますけれども、3 つの力点を作りました。

「安心・安全」「活力・交流」「子育て・教育」によって「選ばれる都市、新潟市」の実現に向け、まちづくりを前進させていきたいと考えています。

予算は過去最大の規模で、7 年連続の収支均衡の予算とすることができました。

6 ページです。ここからは 3 つの力点ごとにお話しさせていただきます。1 つ目は、「安心・安全」ということで、市民生活や、経済活動の土台になる大事な部分ですので、しっかりと取り組みを進め、災害に強い、安心して暮らせる新潟市を目指していきたいと考えています。

地震関連の補正予算に加え、今年度予算では、このたびの地震で浮かび上がってきた課題に取り組むことで防災力を高めていきたいと考えています。

7 ページです。今回はまず、被害を拡大させた要因として、液状化現象について、専門家などによる調査・分析を行います。

先般、この有識者による専門委員会を立ち上げました。この調査を基に街区単位での液状化対策につなげてまいります。

また、避難所の関係では、鍵を持っている職員の到着が遅れまして、ご心配をおかけしたという事例も発生しましたので、津波到達が早い沿岸部などの避難所では、津波警報と連動して鍵が取り出せるキーボックスの導入なども進めます。

また、このたびの地震では改めて災害への備えの重要性を認識しましたので、市民の皆さまに防災意識がより一層高まるよう取り組んでまいります。

8 ページです。防災対策のほかにも市民の命と健康を支える救急活動の機能を向上させます。

現在は受け入れ先の病院が決まるまで救急車から病院へ何度も電話をしているわけですが、ICT 技術によって、複数の病院へ照会を一斉に行うシステムを導入いたします。

さらにバス交通についてはドライバーが不足している現状を皆さまもご承知かと思えますけれども、本当に深刻な状況でして、昨年末に新潟交通と協定を締結しましたので、新潟交通と市民の皆さまがいっしょになって取り組み、路線バスネットワークの維持に向け、頑張っていきたいと考えております。

9 ページをお開きください。2 つ目の力点、「活力・交流」では人が行き交い活力あふれる新潟市に向け取り組んでまいります。

全国的に人口減少が進んでおり、新潟市でも人口は、2005 年の 81 万人をピークに、以降、減少局面に入ってきています。

将来推計としては、新潟市の 2020 年の人口 78 万人が、2050 年には約 61 万人と、17 万人が減少いたします。

特にまちの活力に重要な、15 歳から 64 歳の生産年齢人口の減少、グラフの青色の部分になりますが、ここが大きく、2020 年から 2050 年までに 15 万人も減少する予測となっております。

この 15 万人というものは今の西区の人口と同じですので、30 年間で西区と同じ規模の人口、労働力と言ってもいいかもしれませんが、失われるということで非常に厳しい予測となっております。

こうした状況の中でいかに私たちの社会経済の活力を維持・向上させていくかということですが、人口減少のスピードを遅くしていくことが重要と考えております。

10 ページです。この急速な少子高齢化と人口減少が要因となって、すでに人手不足・人材不足が運送業や医療分野などで深刻化しております。

これに対して新潟市としては地域経済への活力向上に「1. 人を呼び込む」「2. 人を育てる」「3. 人を活かす」という 3 つの柱で取り組んで対応して

いきたいと考えております。

11 ページです。対応の 1 つ目では企業誘致のさらなる強化や、移住・定住への取り組みによって人を呼び込んでいきます。

企業誘致の取り組みとしては各区がそれぞれ企業誘致に取り組んでおりますが、にいがた 2km の新設ビルに IT 企業の進出が昨年度は過去最高となる、22 社の進出が決まり、800 人を超える雇用を生み出しました。

3 年間では、実に 46 社、約 2,000 人の雇用を創出し、一定の成果が出ています。

また、市内 8 区に整備された工業団地 60 ヘクタールについては、現時点で 9 割近くが決定済みで、4 地区は完売となっております。

コロナ禍から経済状況は回復傾向にあり、今後、需要もさらに上向いていくと考えておまして、新たな工業用地造成に向け、準備にかかっています。令和 6 年度は国内 5,000 社にアンケート調査を行い、需要が確認できれば令和 7 年度に開発提案の募集を行います。

12 ページです。対応の 2 つ目ではデジタル化による競争力強化を支える人材育成への支援などによって、人を育てます。

今後、人手不足が深刻さを増すと予想されている中でデジタル技術を活用することによって業務の効率化や人手不足の解消、企業に新たな価値を生み出すことが期待できます。

一方、市内の企業のなかでもデジタル化の遅れているという現状があります。デジタル化をどう進めればいいのか分からないといった声もいただきますので、新潟市としては企業のデジタル人材育成に対する支援や、企業の採用活動を後押ししていきます。

13 ページです。対応の 3 つ目では創業や成長分野への挑戦に人を活かすための取り組みです。

帝国データバンクという機関がありますけども、そこが行った調査によれば、県内企業で黒字のまま廃業した企業は 6 割。また、後継者がいない企業が約 5 割とのことです。

企業としてはまだまだ価値は充分あるにも関わらず廃業せざるを得ない状況で、市としてもここをなんとかできないか考えました。

そこで昨年度から企業が〇〇会社という名前を明らかにして、後継者を求める、「オープンネーム」というやり方で事業承継を推進する事業を開始しました。

昨年度は約 5,000 の事業者アンケートを行い、事業承継につながった例も出てきています。まずは市内企業の皆さまからアンケートをきっかけに事業承継について検討をいただければと思います。

今年度以降もさらにアンケート対象を増やし、事業承継を後押ししていきます。

そのほかにもフルタイムでの勤務が難しい、子育てや介護などに取り組んでいる方と、飲食業や宿泊業などで、短時間労働力でいいのだというよう

な、そういう業界をマッチングするサービスにも新たに組み込んでまいります。

14 ページです。農家の高齢化の進展で、後継ぎ問題が深刻な中、後を継ごうと思ってくれた農家の後継者への支援を行い、担い手の確保に取り組めます。

地域経済を活性化していくために豊かな田園資源を生かした、儲かる農業の支援に取り組んでいきます。

また、全国トップクラスの本市の農業を持続可能なものにするため、より効率的に営農できるよう簡易な圃場整備農地集約化にかかる経費の補助などを始めます。

15 ページです。約 60 年ぶりとなります新潟駅の改築を進めてまいりましたが、3 月 31 日に新しいバスターミナルがスタートし、駅を拠点に新たなバス路線もでき、駅南北の通行が可能になりました。

まだ集計段階ですが、このバスターミナルの完成によってバスの利用者数も若干、上向いているようで、交通結節点としての機能がいっそう充実し、大変うれしく思っています。

ここに来ましてようやくこの新潟駅周辺整備事業の意味や目的といったことが市民の皆さまにも実感してもらえるかたちになってきたと感じています。

また、駅ビル 2 階には 3 月 1 日に観光案内センターがオープンし、4 月 25 日には CoCoLo 新潟がグランドオープンいたしました。新たなにぎわいが生まれ、新潟市全体にいい影響が出てくれることを期待しています。

さらに、鳥屋野潟南部でも、倉庫型商業店舗を核とした開発が予定されており、今後、人の流れが変わり、新潟の活力向上に向けた大きな転換点になることを期待しています。

16 ページです。令和 6 年は地震もありましたけれども、明るい兆しが大変多くある年でもあります。

佐渡の金山については花角知事と渡辺佐渡市長が 3 月末にパリを訪問してユネスコ大使に直接、文化遺産としての価値を、地元の熱意を伝えてきたとのことですので、今年こそは世界文化遺産登録が実現して欲しいと願っております。

新潟市には佐渡航路がありますので、佐渡市との連携をさらに密にして、観光面でいっしょに盛り上げていきたいと考えています。

ほかにもサッカーのアルビレックス新潟が引き続き J1 の舞台で戦いますし、野球のオイシックス新潟アルビレックス・ベースボール・クラブが、新たにプロ野球 NPB イースタンリーグの公式戦に参加しております。

また、空の便では国際線の運航再開。1 月にはトキエアが就航してくれました。

また、コロナ禍で止まっておりましたクルーズ船も昨年度 12 回、今年度も現時点で 9 回の寄港が決まっております。

令和 6 年は、今申し上げましたように、観光やスポーツの面でも明るい話題が多くありますので、交流人口の拡大にしっかりとつなげていきたいと思っております。

17 ページです。ここからは 3 つ目の力点「子育て・教育」です。

市が行ったアンケート調査で理想の人数の子どもが持てない理由として、多くの方が経済的・精神的な負担の軽減や仕事と家庭の両立の難しさを挙げています。

子育て支援は少子化対策としても、また、若い世代から新潟に住んでもらうためにも大変重要でありますので、子育て世代のニーズに応じた取り組みをさらに充実させていきたいと考えております。

18 ページです。子育て支援については市長就任から力を入れてまいりました。1 期目にはこども医療費助成を 2 度拡充し、対象を小学校 6 年生から高校 3 年生までとするなど子育て世帯の皆さまに大変喜ばれております。

そして今年度からは妊産婦の医療費助成の所得制限を撤廃しました。子ども医療費助成と同じ内容で通院が 530 円、薬代が無料という制度ですが、妊産婦の医療費を助成するもので、所得制限の撤廃により、一昨年度の実績が 19 人だったものが、昨年度は 7,000 人を超えるということで飛躍的にご利用していただいております。

さらに産後 2 週間と産後 1 か月に行う産婦健診の受診費用を助成する予定です。

これで妊娠から出産、高校 3 年生までの医療費助成について切れ目なく支援ができるようになります。

また、初産の心身の不調や子育てへの不安を解消するために医療機関で子どもを見てもらいながら、お母さんから心身ともにリラックスしてもらう産後ケアの自己負担額を大幅に引き下げ、昨年は一昨年の 3 倍ご利用いただいております。

今年度は双子や三つ子などの多胎児への支援を拡充し、より利用しやすくして、出産後の不安の解消につなげてまいります。

19 ページです。教育の面です。教育委員会の方では中学校での全員給食化を実施します。

現在、給食が出る中学校は市内の 57 学校のうち 29 校で、それ以外の中学生は弁当の持参か民間のランチを注文する方式ですが、令和 7 年 8 月から全員給食化、すなわちすべての中学校で生徒全員が給食となります。

しっかりと準備を進め、すべての生徒に温かく栄養バランスの良い給食を提供できるように準備をしていきたいと考えております。

また、特別支援教育や通級指導教室についても、各学校に対するサポートを充実させるなど、子どもたちの健やかな成長を後押ししてまいります。

20 ページです。本市でも民間企業に対する男性の育休取得への支援や、ワークライフバランスに配慮した、働きやすい職場作りへの表彰などを通じて働き方改革を応援しております。

そうした取り組みを通じて、市民一人ひとりが「住んで良かった」「働いて良かった」と思っただけの新潟市につながっていくと考えています。

21 ページです。ここで興味深いデータを紹介したいと思います。左上の表は 2 人以上の勤労世帯の、所得の上位 40 パーセントから 60 パーセントまでの、いわゆる中間層所得の経済的な豊かさを比較したものです。

可処分所得、すなわち手取り収入から、食費や住居費、光熱費といった基礎支出を引いて、さらに通勤にかかる時間をコストとしてとらえ、それも収入から差し引いたもので、経済的な余力を表しています。

「経済面でもっとも豊かな都道府県は」と皆さまに尋ねれば、皆さまが思い浮かぶのは東京でしょう、ということになるかと思いますが、実は、平均的な収入の中間層世帯で見ますと、表のように東京が全国最下位の 47 位になってしまいます。

東京はおそらく世帯全体で見ると年収は高いものだと思いますが、生活費も高く、結果的に余暇などに使える経済的な余力は残らないというふうに思います。

一方で新潟県は全国 7 位ということで、東京の 13 万 5,000 円と比較して、10 万円近くも上回っており、経済的な豊かさがあることがデータから明らかになっております。

新潟は「都市と田園が調和し暮らしやすい」という点が、ほかにはない強みだと思っておりますが、経済的な豊かさもち合わせているという点をもっと今後アピールしていきたいと思っております。

22 ページです。報告になります。先の 2 月議会で可決され、73 年ぶりに市政上 4 人目となる、新潟市名誉市民に、佐野藤三郎さんという方が選定されました。

ご存じの方もいらっしゃると思いますが、佐野さんは昭和 30 年から約 40 年にわたりまして、亀田郷土地改良区の理事長を務められ、そのたぐいまれな行動力と統率力で今日の新潟の基礎を築かれた方です。

芦沼と呼ばれた湿田を多くの土地改良事業により、美田へと変え、本市の農業の発展に尽力されました。

そのほか、まちづくりの分野や国際交流の分野においては中国の黒龍江省に広がる三江平原の農業開発に協力するなど大きな功績を残されました。

佐野さんを知らない方もたくさんいらっしゃると思いますので、今後、より広く佐野さんを知ってもらい、佐野さんの功績が次の世代へと受け継がれ、市民の誇りにつながるよう取り組んでまいります。

23 ページです。最後になりますが、本日は地震のお話、令和 6 年度の予算のお話などをさせていただきました。

まずは 1 日も早く、被災された皆さまの生活再建、復旧・復興に全力を尽くしてまいります。

一方で、先ほども申し上げましたが、令和 6 年度は新潟市がまちづくり

	<p>で大きく変わる転換期でもあり、交流人口拡大のチャンスでもあります。</p> <p>今後進む少子高齢化、人口減少社会の対応として、経済活力を生み出すとともに子どもから高齢者まで笑顔あふれる新潟市を築いていくことで、特に流出が大きい若い世代の皆さまから、この街を選んでもらうことが非常に重要であると認識しております。</p> <p>まちづくりは行政だけではできません。自治協議会の皆さまと連携しながら新潟の活力を生み出し、「選ばれる都市 新潟市」を実現していきたいと考えておりますので、引き続き市政へのご協力をよろしくお願いを申し上げます。</p> <p>長くなりましたけれども、私からの説明は以上となります。ご清聴、大変ありがとうございました。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>中原市長、大変ありがとうございました。続きまして、堀区長より西蒲区における令和6年度の主な取り組みについてご説明をお願いします。</p>
<p>事務局 (堀西蒲区長)</p>	<p>皆さまこんにちは。西蒲区長の堀です。私のほうから今年度の西蒲区の主な取り組みについて説明します。</p> <p>お手元の同じ資料の最後の方になります。38ページをお開きください</p> <p>西蒲区の特徴・特性を考慮しながら、今年度の区ビジョンに掲げている区の将来像の実現を目指して、区役所一丸となって取り組みを進めてまいります。</p> <p>まず「にしかんイノ”米”ション～やっぱりお米でしょ!～」、新規事業であります。</p> <p>おにぎりコンテストの開催などを通じて、主食用米の消費拡大を図るとともに、加工用米などの新規需要の創出に向けた革新的な提案を募集し、取り組みを支援するものです。</p> <p>次の2つは区長提案事業です。1つ目「岩室温泉いらっしやインバウンド」です。</p> <p>現在も観光協会さんなどと連携をして、国内外からの誘客に取り組んでおりますけれども、西蒲区最大の観光地である岩室温泉の案内看板が大変老朽化をし、かつ、日本語表記のみという状況です。</p> <p>特に、海外からのお客さま・来訪者には分かりにくいものとなっておりますことから、統一感のあるデザインで、かつ、多言語対応の看板に更新をするものです。</p> <p>その下「上堰瀧公園魅力向上プロジェクト」です。今年も春、菜の花とさくらが満開の頃にイベントもあり、非常に多くの方でにぎわいました。</p> <p>今年度はわらアート作品をライトアップいたしまして、話題性の獲得を目指してまいります。</p> <p>一方で、特にお花が見ごろの時期は駐車場の混雑、あるいは付近の道路渋滞などが生じており、非常に大きな課題となっております。</p> <p>そこで、現状、砂利敷きの第2駐車場を舗装いたしまして、ガードパイプを設置するなど、高齢者の方・障がい者の方、あるいはベビーカーご利用</p>

	<p>の方などの利便性と、交通安全対策に配慮した、誰もが利用しやすい駐車場として整備してまいります。</p> <p>おめくりいただいて、次の 39 ページお開きください。1 つ目「中学生キャリア教育」です。</p> <p>子どもたちが住んでいる地域の魅力を再発見し、愛着を感じてもらえるよう、中学生を対象として、区内で活躍する若者との出会いや、あるいは対話などを通じて授業を実施するものです。</p> <p>2 つ目「旧潟東西小学校利活用事業」、これは区長提案事業です。</p> <p>統合された潟東地区の 3 つの小学校、このうちの西小学校について、早期活用に向けて、体育館部分の施設整備に取り組むものです。</p> <p>学校から体育施設に用途変更することで生じる消防法など、各種法への対応として、例えば防火壁の設置ですとか、自動火災報知器の改修などを行ってまいります。</p> <p>3 つ目「獣害対策」です。区民の皆さまの安心・安全の確保と、農作物の被害を最小限にすることを目的として、野生獣。西蒲区で言えばイノシシになります。野生獣の捕獲の実効性を高めるため、監視カメラやセンサー付きの罠などの導入。あるいは見通しの良い地帯、緩衝帯の整備に対する助成などを行うものです。</p> <p>最後にいちばん下「西蒲区役所新庁舎整備事業」です。</p> <p>新しい庁舎、これは現在位置で建て替えるものとします。昨年度から、区民の皆さまへの説明を重ねてまいりました。</p> <p>先月までに実施しましたパブリックコメントを踏まえまして、基本構想が固まりましたので、今年度は基本設計の作業に入ってまいります。</p> <p>説明は以上です。今年度も区民の皆さまとともに取り組んでまいります。よろしくお願ひします。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>中原市長、区長、丁寧な説明をありがとうございました。</p> <p>それでは、前回部会で意見をまとめていただいたことについて、各部会を代表しまして、各部会長よりそれぞれ発言をお願いします。</p> <p>まず初めに総務部会古島部会長、よろしくお願いします。</p>
<p>(古島委員)</p>	<p>総務部会長の古島と申します。</p> <p>総務部会から、転出抑制につながる子育て支援について質問します。「子育て・教育」の力点も関係してくると思いますが、西蒲区においては 2020 年時点で 54,546 人である人口が、2045 年には 36,054 人になると推定されております。</p> <p>人口減少だけではなくて、15 歳から 64 歳までの生産年齢人口が 8 区の中でもっとも低く、2044 年には 44.5 パーセントになると推定されており、少子高齢化が加速している状況です。</p> <p>活気ある西蒲区を目指すため、人工減少及び少子高齢化に歯止めをかけなければならない中で、西蒲区に住んでみたいと思うような施策の一部として、子育て支援に焦点を当てました。</p>

	<p>西蒲区の近隣市町村ではおむつなどの購入費を支援する事業など、子育てにかかる支援制度が充実しております。</p> <p>近隣ではないのですが、3歳以降だけではなく、0歳から2歳までの保育料が無料という市町村もあります。</p> <p>子育て支援を受けるために新潟市からわざわざ近隣市町村に転居をした事例もあると聞いたことがあります。</p> <p>新潟市、しいて言えば西蒲区でも、独自性があり今以上に魅力的で西蒲区に住みたいと思うような施策に取り組んでいただきたいと思っております。よろしくをお願いします。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>いかがでしょうか、中原市長。</p>
(中原新潟市長)	<p>ありがとうございました。貴重なご意見で、ごもっともなご意見だというふうに思います。</p> <p>私個人的にということになりますが、子育て世代の皆さまには、子育てが負担だ・大変だ・苦しいということだけで終わってしまったのでは、非常に人生の中で気の毒なような気がするのです。</p> <p>やはり、子育てというかけがえのない経験の中で、苦しいながらも「楽しい」ですとか「幸せだ」と感じていただくことが理想ではないかと思っています。</p> <p>そうした中で、先ほども申し上げましたけれども、アンケート調査の中では経済的な負担ですとか、精神的な負担が大きいというような声が出ております。</p> <p>新潟市としましては、そうしたことにしっかり対応しながら、子育て支援を充実してまいりたいと考えております。</p> <p>先ほどお話ししたとおりですが、子ども医療費の助成、それから、産後ケアの拡充ということを積極的に行ってまいりました。</p> <p>また今年度は、産婦健診の助成、それからにいがたっ子すこやかパスポートの対象拡大。これも中学生までから高校3年生までというふうに、徐々に民間の皆さまからもご協力をいただきながら取り組みを進めております。</p> <p>また、中学校の学校給食、約半数が学校給食をやっているところとやっていないところがあるわけでありましてけれども、ようやく準備を今、進めており、令和7年の夏休みが終わった後にはすべての中学校で完全給食が実施されることとなります。</p> <p>こうした政策を続けていきたいと思っておりますし、今の古島さんのご指摘では西蒲区を特に子育てが充実した区にしたいというお考えもありますので、区の取り組みとしては、子育て世代に不安を感じている方同士が学ぶ講座を開催したり、不安感・孤独感の軽減、仲間作りを支援するなど、赤ちゃんと親子の絆づくりなどの取り組みを実施しております。</p> <p>このほか、発達障害などをお持ちの未就学児を対象に、音楽を通して情緒</p>

	<p>の安定やコミュニケーション能力を伸ばすミュージックセラピーなどを実施しているところであります。</p> <p>他市町村の様子も、正直言えばいろいろ気にかかるころだと思います。われわれも決して気にかからないわけではありませんけども、財源をまたしっかりと確保しながら拡充できるように取り組んでまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。</p>
議長 (吉田会長)	<p>中原市長、ありがとうございました。</p> <p>古島部会長、よろしいでしょうか。</p>
(古島委員)	<p>ありがとうございました。</p>
議長 (吉田会長)	<p>補足があれば、堀区長お願いします。</p>
事務局 (堀西蒲区長)	<p>今、中原市長からお話したようなことはしっかり取り組んでまいりますし、一方で子育て支援団体については、民間の団体が多々いらっしゃいます。</p> <p>それこそ、お母さんの悩みを共有している方の集まりなんかもやっていただいていますので、そういう子育て支援団体の皆さまへの支援だったり、あるいは連携だったということも今後、考えていきたいなと思っておりますし、産科や小児科が西蒲区にもありますので、そういった先生方との意見交換も高めていきたいと思っております。</p> <p>また、少し視点はずれるかもしれませんが、「中学生キャリア教育」、いわゆる子どもたちにこの西蒲区に愛着を持ってもらう、誇りを持ってもらうというような取り組みもしっかりやっていきたいと考えております。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>当然、いろいろな取り組みをすると必ず予算、お金がかかってくるものですから、なかなか新潟市は政令市であり人口も多いということで、大変かもしれませんが、われわれの方でも何か良い提案があったら行政とタッグを組んで、そういった支援を充実できることがあれば提案できればいいなと思います。</p> <p>では続きまして、保健福祉部会岩崎部会長、お願いします。</p>
(岩崎委員)	<p>保健福祉部会長の岩崎です。</p> <p>西蒲区は非常に人口が減ってきており、ここ10年間、新潟市の中でいちばん減少率が高く、そして高齢化率もいちばん高くなっておりまして、子どもの割合がいちばん低い区になっております。</p> <p>その中で保健福祉部会では、特に高齢者の移動支援と、子育て環境を西蒲区の課題ととらえております。</p> <p>具体的には、高齢者の方からは、どこの地域行っても不便であるとか、将来車の運転ができなくなった時の移動手段への不安が聞かれます。</p> <p>高齢者にとって、日々の買い物というのは、生活に必要なだけではなく</p>

	<p>て、外へ出かけるということは楽しみでもあり、生活に刺激を与え、認知症の予防にもつながると言われております。</p> <p>近隣では、弥彦村には自動運転バスがあり、燕市では予約制の乗り合いワゴン車の運行で自宅あるいは出先まで迎えに来るしくみで移動支援を行っております。</p> <p>これらも参考にしながら、課題解決に向けて、行政だけでは限界があると思いますので、引き続き地域としての具体的なアイデアを出しながらいっしょに考えていくことが重要だと思います。</p> <p>それから子育て環境支援については、先ほど市長からも話があったように、非常に力を入れているということは理解しております。</p> <p>市政の世論調査でも、今後もっとも力を入れて欲しいものの第 1 位が子育て支援となっております。</p> <p>子育ては家庭だけではなく、地域の力も合わせて子どもを育てていくしくみが重要だと感じております。</p> <p>子育ての土台は地域ということを打ち出していただき、地域の皆さまにも役割があり、力を発揮していただく取り組みが要るのではと思っております。</p> <p>いずれにしても、地域課題の解決には自治会や民生委員、そういった地域の世話役といえますか、担い手の力が必要ですが、なかなか現在、次の世代の担い手が不足していると感じております。</p> <p>西蒲区内でも民生委員がいない地域があるとも聞いておりますし、それらは防災の面も見ても弱くなってくることだと思います。</p> <p>このため、地域の担い手不足解消のための対策、あるいは課題解決に向けた地域活動の支援についてこれまで以上に力を入れるよう、お願いしたいと思っております。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。 中原市長、お願いします。</p>
<p>(中原新潟市長)</p>	<p>ありがとうございました。確かに、ご指摘の人口減少についてはおっしゃるとおりだと思いますけれども、西蒲区に限らず新潟市内の 8 区すべて同じような状況で、なおかつ移動支援というご指摘をいただきました。これもやはり西蒲区だけではなくて、すべての区において、やはり移動支援の充実ということが新潟市に寄せられております。</p> <p>西蒲区の皆さまからは、西区、あるいは中央区はいいよねと、もしかしたら思われているかもしれませんが、中央区の皆さまから言われると、私たちはそれ、絶えず批判されておまして、「批判」という言い方はおかしいのですけれども、中央区もどんどん路線バスがきびしい状況となっており、先ほど申し上げました、バスの運転手不足などによって、やはり 1 日あたりの便数が減って以前よりもやはりだんだんと利便性は低下しているという指摘を受けているところであります。</p> <p>高齢社会の中、そうした現状の中で、お年寄りの方々から元気で過ごして</p>

	<p>いただくためには確かに日常的生活ができる、買い物に行ったり、友人と会ったりできる。そのために交通手段が必要だというご指摘は、ごもっともだと考えております。</p> <p>ただし、現実問題で申し上げますと、先ほどの繰り返しになりますけど、路線バスはこれ以上の拡充というものは至難のわざではないかと思っております。</p> <p>できるだけ市民の皆さまから路線バスを活用していただいて、今のそのネットワークを残していくということが最低限できることではないのかというふうに思います。</p> <p>あとは、その路線バスを補完するさまざまな交通手段、今、各区においては地域コミュニティ協議会が買い物支援などにそのバスを有効活用していただいているというような事例があります。</p> <p>そういうところは、われわれ行政としても手が及ばない範囲ですけれども、本当にありがたいというふうに考えております。</p> <p>それから地域の担い手不足については、やはり地域を良くしていく、活性化をしていく、こういう時にやはり地域の力というものがどうしても大事になってまいります。</p> <p>しかし、そうではあるのですが、今度は皆さまの立場からしますと、それを担ってくれる人たちがいないのだよねと、こういうことになろうかというふうに思います。</p> <p>そういうことから西蒲区の自治協の事業で今年度スタートしていただきました、にしかん応援隊ということは、身近な祭りといった機会を使って、イベントのお手伝いなどを通じて地域活動に参加していく取り組みで、こうした機会を通して、担い手の発掘につながっていくことを、私としても期待をしているところであります。</p> <p>また、若いうちから地域活動に興味を持ってもらうこともありがたいことですので、若い皆さまから地域活動に参加することが、地域がより元気になるというふうに思いますので、引き続き新潟市としては若者に参加してもらいやすい環境を整えていきたいというふうに考えております。</p> <p>すべてお答えできたどうか分かりませんが、とりあえず回答にさせていただきます。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。 堀区長、お願いします。</p>
<p>事務局 (堀西蒲区長)</p>	<p>今、松野尾や中之口で、若い方たちがこの地域を盛り上げるのだという動きが出てきております。</p> <p>非常に頼もしく思っている次第でありますし、にしかん未来 BASE というものも昨年立ち上げました。これは区全体ですが、西蒲区を自分たちの力で盛り上げよう、楽しいことをしよう、おもしろいまちにしようという場を作りました。</p> <p>そういった機会もどんどんこれからも作っていきながら、若い人がいわ</p>

	<p>ゆる地域活動に参画できるようなしかけを作っていきたいと思っていますし、なにより自発的な動きがあちらこちらで今、出始めておりますので、そういったものにもわれわれは期待をしているところであります。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>区長さん、ありがとうございます。市長さんもありがとうございます。</p> <p>今ほど区長からお話があった、にしかん未来 BASE ですね。ホームページに次回の開催日が載っていますので、ぜひそちらのほう興味ある方は出席していただければかなというふうに思っております。よろしく願います。</p> <p>それでは最後になりますが、まちづくり・産業部会のほうから大橋部会長さん願います。</p>
<p>(大橋委員)</p>	<p>まちづくり・産業部会長の橋です。</p> <p>西蒲区の観光誘客の取り組みについて、質問したいと思います。</p> <p>先ほど市長から説明がありましたが、現在、西蒲区のカラーである「ハーベストイエロー」。これはやはり農業、それから観光面、このようなところにやはり力を入れていく区なのだろうなと思っております。</p> <p>特に観光の関係では、誘客への取り組みということで、海外からのお客もかなり増えてきておりますが、やはり東京あるいは京都の方に集中しており、新潟などの地方にはなかなか少ないというような状況があります。</p> <p>それで、先ほども話がありました、新潟駅のリニューアル、それからトキエアの就航、このようなこともあり、仙台や北海道の方も、以前より行けるようになったと感じております。</p> <p>また、クルージングについても先ほどお話がありましたが、特に新潟のほうにも大きな船が来て、そして、新潟で降りて少し近くのところに行く。こういうことでも、西蒲というよりは月岡とかそういうところに行っていることが多いのかなという感じがしております。</p> <p>それから、佐渡の金山の関係。これも今後どうなるか分かりませんが、世界遺産登録。このようなところが、観光客の増加、こういう海外の方も含めて非常に多くなってくるのではないかなと、非常に期待をしているところであります。</p> <p>特に西蒲区の周辺には弥彦があったり、寺泊の魚市場があったりして、非常に観光的な面でも優れたところが多くあります。</p> <p>もちろん西蒲区も岩室温泉があるわけですから、新潟市内唯一の温泉街ということもあり、岩室温泉や上堰瀧公園での、わらアートとか、いろいろなイベントも今年はかなりやってきております。</p> <p>それから角田山、海、灯台。非常に素晴らしい観光資源を多く持っている区だと思っております。</p> <p>そういった意味で、西蒲区はいるのですが、近隣の市町村も含めた連携を取りながら、ぜひ観光業・誘客なんかも願いたいと思います。</p> <p>特に新潟駅もかなりリニューアルされてきているわけですから、そのあ</p>

	<p>たりと、空港、港、クルージング。そういうところで降りたお客さまをぜひ、こちらの方に誘客をお願いできないかなという、そのような取り組みをお願いしたいと思っております。</p> <p>私どもで一生懸命やるというよりは、行政の力、あるいはエージェント。こういう力に頼っていくことも必要だろうというふうに思っておりますので、ぜひそのようなことも含めて、誘客についての取り組みをお願いしたいと思えます。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>中原市長、お願いします。</p>
(中原新潟市長)	<p>ありがとうございました。もう、すべておっしゃるとおりで、あと、どういうふうにも実際の誘客につなげていくかということがもっとも重要なのだと思えます。</p> <p>いろいろな方々が新潟に来られて、新潟の良さを述べていただくのですが、やはり食だとか、それから角田山ですとか、それから岩室温泉だとか、本当にいいねと言ってくださいます。</p> <p>市長としてはうれしい限りですし、ただ、来ていただければそういう評価になるのですが、来ていただかないことには実際の誘客につながらないわけですので、冒頭申し上げましたように、また、大橋さんから言っていたように、今年はトキエアだとか、新潟駅がリニューアルされたとか、クルーズ船もコロナからようやく回復しつつあって、人が動き出すチャンスですので、それをいかに西蒲区の岩室温泉だとか、岩室温泉の場合は、皆さま温泉街、一生懸命頑張っていると思えますし、料理もおいしいですし、弥彦とつながってお互いに相乗効果で誘客を実施するといったような体制、その時にバスを使ってという二次交通ですとか、三次交通、カーブドッチもありますし、そういうところをしっかりとつなげて西蒲区における観光地の誘客を、観光部といっしょに進めていきたいと思えます。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>各部会の皆さまも、意見を集約していただき大変ありがとうございました。</p> <p>私の方から最後に1つ、区長の説明にもあったとおり、西蒲区役所の庁舎整備について、今、進んでいるところではありますが、本当に1日でも早く完成ができるようにまたご尽力いただければと思えますので、そのあたりも踏まえまして、ぜひともよろしくをお願いします。</p> <p>以上で終わります。最後に一言、中原市長からなにかありますか。</p>
(中原新潟市長)	<p>どうも今日は大変ありがとうございました。</p> <p>まだまだ皆さま方とさまざま意見交換させていただければいいのでしょうかけれども、今日はまた、とりあえずということで、今年度1回開催をさせていただきました。</p> <p>また、吉田会長をはじめ、皆さま方に地域のことでお世話になろうかと思えますし、そうしたことについては区長を中心に対応させていただきます。</p>

	<p>すので、引き続きご遠慮なく皆さまからもご意見をお寄せいただきたいと思いますし、われわれもそれにしっかり応えられるように、全力で頑張っておりますので、引き続きどうぞよろしくお願いを申し上げます。</p> <p>本日は大変ありがとうございました。</p>
(会場)	(拍手)
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。以上をもちまして、市長と西蒲区自治協議会の懇談会を終了します。15分休憩したのちに、本会議のほう進めていきたいと思えます。2時15分から会議を始めます。</p> <p>それでは中原市長、大変ありがとうございました。</p>
(中原新潟市長)	どうもありがとうございました。
事務局 (藤田補佐)	<p>それでは、これより本会議を再開します。</p> <p>初めに本日の会議資料の確認をお願いします。</p> <p>事前に送付した資料としまして、資料1-1から1-3、各部会の状況について。資料2-1から2-3、新潟市巻斎場整備基本設計について、必須意見聴取になります。資料3-1、令和5年度西蒲区組織目標。資料3-2、令和6年度西蒲区組織目標。資料4、西蒲区区ビジョンまちづくり計画第1次実施計画年度評価。資料5、「学びと体験でつながろう西蒲区」プロジェクトミーティング会議概要。</p> <p>また、本日机上にお配りした資料としまして、次第。資料3-2の差し替え分。矢川灯籠流しのチラシ。緑の音楽祭のチラシ、緑の音楽祭の応援隊募集シート。浜スマイルクラブのチラシ。</p> <p>資料は以上となりますが、不足等はございませんでしょうか。</p> <p>それでは、吉田会長より議事の進行をお願いします。</p>
議長 (吉田会長)	<p>それでは、議事に入ります。議事(1)「各部会の状況について」です。各部長は、前回の部会の状況について、総務部会、保健福祉部会、まちづくり・産業部会の順に報告をお願いします。</p> <p>それでは初めに総務部会古島部会長、お願いします。</p>
(古島委員)	<p>総務部会古島です。総務部会から報告します。</p> <p>先月行いました、第1回総務部会では、令和6年度区自治協議会提案事業「学びと体験でつながろう西蒲区」において実施するブース、およびサバイバルブースの詳細について協議しました。</p> <p>総務部会として実施するブースについては、これまで協議してきた内容に修正等はなく、資料に記載のとおり確定しました。資料1-1をご参照ください。</p> <p>ホッケー体験会、および防災ブースについては、外部団体が主体となって運営をします。担当委員が各団体と調整し、出店計画書を今月の21日(火)までに提出することとなっています。この後の部会でその結果を共有する予定です。</p> <p>サバイバルブースについては、対象を小学4年生以上の親子30組と</p>

	<p>し、物品調達の関係で、事前申し込みにて参加者を募集することにしました。</p> <p>講師については、火起こし体験はわたくし古島と小林（正）委員、ロープの結び方講座（ロープワーク）は遠藤委員と私の知り合いの庭師さん、アイラップ調理は青柳委員が講師を務めることとしました。</p> <p>総務部会からの報告は以上です。</p>
議長 （吉田会長）	<p>ありがとうございました。ただ今の件について、ご意見やご質問ございますでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。ありがとうございました。</p> <p>続きまして、保健福祉部会岩崎部会長、お願いします。</p>
（岩崎委員）	<p>保健福祉部会岩崎です。</p> <p>先月開催しました、第1回保健福祉部会では、令和6年度区自治協議会提案事業について協議をしました。</p> <p>1つ目は、丹野智文さん講演会と映画『オレンジランプ』の上映会について、協議を行いました。なお、資料では12月に開催するとありますが、講師と日程調整中で、現時点で日程は未定です。</p> <p>2つ目は、10月に実施予定の「学びと体験でつながろう西蒲区」について、設置するブースの詳細を各委員で情報共有・検討しました。</p> <p>以上、保健福祉部会からの報告を終わります。</p>
議長 （吉田会長）	<p>ありがとうございました。ただ今の件について、ご意見やご質問ございますでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。ありがとうございました。</p> <p>続きまして、まちづくり・産業部会大橋部会長、お願いします。</p>
（大橋委員）	<p>まちづくり・産業部会の大橋です。</p> <p>先回開催しました、第1回の部会では市長との懇談会について検討をしました。今日、発表したとおりですが、西蒲区としての観光誘客の取り組みについて質問するという事に決まりました。</p> <p>令和6年度区自治協議会提案事業については、「にしかん応援隊」についての検討、「学びと体験でつながろう西蒲区」についての進捗状況を共有しました。</p> <p>今日お配りしました、西川の緑の音楽祭において、応援隊を募集することので、皆さまのご協力をお願いしたいと思います。</p> <p>まき夏まつりも6月の14・15・16日の3日間開催されますが、こちらも応援隊の募集をしています。人数がまだまだ少ないということなので、今月末まで募集していますので、ぜひよろしくをお願いします。</p> <p>「学びと体験でつながろう西蒲区」の食のブースの関係としては、依頼内容を協議しました。</p> <p>報告は以上です。</p>
議長	<p>ありがとうございました。今ほどの件について、なにかご質問・ご意見</p>

<p>(吉田会長)</p>	<p>ございますでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。ありがとうございます。</p> <p>今ほど部会からの報告がありましたが、私から各部会にお願いしたいことが2つあります。</p> <p>1つ目は、今ほど保健福祉部会から、3部会合同イベント以外で講演会と映画上映会を実施したいという話がありましたが、3部会合同イベントの予算が今のところ210万～220万円で、年間予算300万円ですので、80万～90万円まだあるという状況です。保健福祉部会以外にも実施したい事業がありましたら、予算の範囲内でぜひ実施していただきたいと思いますので、本日の部会でご検討をお願いします。</p> <p>2つ目は、大橋部会長からもお願いがありました、「にしかん応援隊」についてです。LINEなどでも周知していますが、なかなか集まらないのではないかとということが正直なところで、今のところ、まき夏まつりに応募してくださったのが1名です。まずは、ぜひ皆さまから体験をしていただき、応援隊の改善点などを率直に教えてもらえるとよいと思いますので、緑の音楽祭もありますが、いろいろ地域の催し物にご参加いただければと思います。</p> <p>それでは議事(1)を終了します。</p> <p>続いて、議事(2)「新潟市巻斎場整備基本設計について」、意見聴取です。それでは保健衛生総務課長、お願いします。</p>
<p>事務局 (真田保健衛生総務課長)</p>	<p>保健衛生総務課長の真田です。</p> <p>巻斎場については、昨年8月に基本計画が完成した際に、皆さまにご説明しましたが、昨年度末に基本設計が完成しましたので、本日はその内容を説明し、皆さまからご意見を頂戴できればと思っております。</p> <p>資料2-2をご覧ください。1事業概要ですが、巻斎場整備基本設計は建設工事の基礎となるもので、老朽化の進む巻斎場の火葬能力を高め、必要な火葬体制の確保、および市民サービスの維持を図っていくために、令和6年3月に作成しました。巻斎場利用する皆さまになるべくご不自由をかけないように、現在の敷地内で建て替えを行い、火葬を止めることなく整備を進めてまいります。</p> <p>2事業スケジュールをご覧ください。令和5年度に基本計画、および基本設計を策定し、測量調査・地質調査を実施しました。今後のスケジュールは、令和6年度に実施設計、令和7年・8年度に建設工事を実施し、令和8年度に解体工事設計の実施、令和9年度に新斎場の供用を開始し、その後、既存建物の解体工事を実施します。令和10年度には外構工事を計画しています。1月1日の能登半島地震の被災者対応の影響により、市全体の公共工事にやや遅れが生じておりますので、今後の地震からの復旧・復興業務の進展具合によっては、ややこのスケジュールが変更になっていく可能性があるということだけご承知おきいただければと思います。</p> <p>3事業費をご覧ください。建設費は、現在のところ約15億円を見込ん</p>

	<p>でおります。</p> <p>それでは次に、資料 2-3、新潟市巻斎場整備基本設計（概要）をご覧ください。1 基本設計の位置づけですが、今後の巻斎場整備にあたり、基本的な施設の構造・レイアウト・空間計画を設計し、実施設計を行うための資料とするものです。</p> <p>飛ばしまして、3 基本設計の計画コンセプトをご覧ください。故人を偲び、心ゆくまでお見送りできる場、安心して利用できる施設、環境や景観と調和した施設、将来変化に対応できる施設、この 4 つを計画コンセプトとしており、右側の 4 をご覧ください。</p> <p>4 つの計画コンセプトを実現するための要点を掲げています。この中でいくつかご紹介しますと、(1) の 2 つ目、故人の尊厳やプライバシーに配慮し、他の会葬者と干渉しない個別化した葬儀空間とするため、告別・収骨スペースを複数設置し、同時受け入れ対応を可能とし、重ならない動線の確保に努めます。</p> <p>(2) の 4 つ目、誰もが使いやすいようにバリアフリー化・ユニバーサルデザイン対応した設備、レイアウトとして、初めて訪れた方でも分かりやすい平面構成を考えています。</p> <p>(3) の 3 つ目、高い水準での省エネルギー化等を進めてまいりたいと考えています。</p> <p>(4) の 3 つ目、将来の変化に対応できるように、火葬の機械のメンテナンスや機械の入れ替えを考慮しながら造っていくことを考えています。</p> <p>それでは裏面をご覧ください。まず左上の敷地配置図をご覧ください。現在、巻斎場の駐車場等になっている位置に新たに斎場を整備し、新斎場の供用開始後に現在の斎場を解体します。</p> <p>次に左下、建物平面図をご覧ください。告別・収骨ゾーン、待合ゾーン、火葬炉ゾーン、管理ゾーンを図のように配置します。</p> <p>右側の完成イメージをご覧ください。上は外観イメージです。周囲の田園や山並みと調和した厳粛でありながら安らぎを感じられる設計としています。下は室内イメージです。静音性の高い、清潔かつ美しい衛生空間、そして直射日光をコントロールした明るい空間となるように整備します。</p> <p>基本設計の概要についての説明は以上です。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>巻斎場についての説明がありました。こちらは地域の意見を反映させるための意見聴取ですので、皆さまご意見はございますでしょうか。</p> <p>栗原委員、お願いします。</p>
<p>(栗原委員)</p>	<p>漆山コミ協の栗原です。</p> <p>実は今年の 2 月に祖母が亡くなり、巻斎場を利用しました。その際、私を含め何人かは施設内で待機したのですが、自動販売機がなくて、職員に聞くと、遥か彼方の自動販売機で、2 月の寒空の中、往復 20 分歩きました。</p>

	<p>なので、新しい施設には、待っている方に対してもご配慮いただきたいと思います。確か、南区の斎場は茶器などの貸し出しをしていただけたので、お茶も飲みました。</p>
議長 (吉田会長)	<p>いかがでしょうか。</p>
事務局 (真田保健衛生総務課長)	<p>ありがとうございます。自動販売機の設置になるのか、茶器の設置になるのかということは、今後の検討なるかと思いますが、今回、自治協にてご意見があったということで検討したいと思います。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ほかいかがでしょうか。</p>
(鈴木委員)	<p>鈴木委員、いかがでしょうか。</p> <p>年回に何回か通わせてもらっています。建物のことではなく、職員についてなのですが、西区青山や南区などの新潟市内の他の斎場も行くのですが、巻斎場に行くときちょっと雰囲気が違うなど感じることがあります。簡単に言うと、他の斎場がやさしい看護師さんだとしたら、巻斎場は刑務官という感じがするのです。</p> <p>人が悪いのでは絶対にはないのですが、硬く、まじめな雰囲気、不思議なびりびり感を感じます。同じ新潟市なのに、結構な違いがあるので、今回を機に統一して、悲しみなどいろいろな複雑な思いを持っておられるので、余計な心配をしなくてもいいようになると良いのではないかなと思いました。</p>
事務局 (真田保健衛生総務課長)	<p>ご意見ありがとうございます。巻斎場と他の斎場との差としては、他の斎場では、人力ではなくある程度機械化されてご遺体を運んだり炉に入れたりすることができるのですが、巻斎場に関しては非常に古いので、棺を人力で持ち上げ炉に入れたりしているというところもあり、緊張感を持って対応しているのが現状です。</p> <p>ご意見があったということで、相談していきたいと思います。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ほかに皆さまいかがでしょうかね。</p>
(渡辺(美)委員)	<p>渡辺委員、お願いします。</p> <p>大きさはどのくらいになるのですか。4炉でしたでしょうか。</p>
事務局 (真田保健衛生総務課長)	<p>3炉を想定しております。ただ、最新型の炉になるので、火葬に係る時間は短縮化されます。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ほかにいかがでしょうか。</p>
(徳井委員)	<p>徳井委員、お願いします。</p> <p>先ほどの鈴木委員のような質問なのですが、私も昨年、父親の関係で斎場を利用したのですが、めったに使うことがないもので、斎場の職員はどこまでの仕事なのかなと。</p> <p>利用した際にソフトの部分が全く無くて、職員が誰もいなくなってしまうので、どうしたらよいのか分からない状態でした。たまたま、料理屋さん</p>

	<p>の運転手さんがいたので、その人に教えてもらったりしたのですが、そういったソフトの面は、斎場では一切やらないということなのですか。</p>
議長 (吉田会長)	<p>「ソフト」というのは様々な説明ということですか。収骨の時の説明とか。</p>
(徳井委員)	<p>そうです。</p>
事務局 (真田保健衛生総務課長)	<p>保健衛生総務課は建てる方の仕事を担当しており、大変申し訳ないのですが、細かいことまで存じ上げておりません。</p>
事務局 (小林区民生活課長)	<p>区民生活課です。斎場の職員についてですが、基本的な業務は、ご遺体の搬入・搬出、それから炉の焼却・メンテナンス・管理です。</p> <p>先ほどから他の斎場と巻斎場との違いの話が出ておりましたが、実は新潟市の他の斎場は、ほとんどが指定管理、つまり民間委託になっているのですが、巻斎場は直営という部分があります。さらに、炉など施設が古いため、なかなか皆さまの希望にも応えきれないという部分もあります。例えば、自動販売機の設置もスペースが無いなど、非常にご不便、使い勝手が悪い状態になっていると思います。</p> <p>あともう1つが、昔から使われている方が多く、斎場もある程度限定されたやり方をしていたということで、コロナ禍前まではどちらかと言うと斎場の職員が率先して案内をしていた部分に、少し甘えていたということがあります。最近ではコロナ禍ということもあってか家族葬が増えるなど、やり方がいろいろ変わってきている部分があり、ご利用されている方に少しとまどいが出ているのかなと思っています。</p> <p>機会見つけて、斎場の職員へ指導をしたいと思っております。貴重なご意見どうもありがとうございます。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。ほかにはいかがでしょうか。</p> <p>では、こちらの基本設計については、委員からの意見を考慮していただき、引き続き丁寧に説明を行いながら、震災の影響もあるかもしれませんが、なるべくスケジュールどおりに進めていただきたいということをつけ加え、回答とします。</p> <p>ありがとうございました。</p>
議長 (吉田会長)	<p>続きまして、報告(1)「西蒲区組織目標について」です。区長から説明をお願いします。</p>
事務局 (堀西蒲区長)	<p>区長の堀です。令和5年度と6年度の西蒲区の組織目標について、報告をします。</p> <p>初めに、令和5年度の組織目標についてです。資料3-1をご覧ください。まず、組織の目的・方向性です。昨年度はⅠ広大な農地を活用した食・農業の高付加価値化と農業経営の安定化の推進、Ⅱコロナ禍で影響を受けた観光産業の需要回復とアフターコロナにおける観光誘客の加速化、Ⅲ区民・地域との協働による安心・安全なまちづくりの推進、この3つの</p>

柱で構成をしておりました。

次ページをご覧ください。今ほど申し上げた組織目標に基づき、ページの真ん中より下に記載しています、5つの重点目標を指標とともに設定し、昨年度、取り組みを進めてきたところです。

3ページをご覧ください。令和5年度に設定した、この5つの重点目標の取り組み結果をまとめたものになります。1年間取り組んだ結果、5つの項目のうち、一番上に記載がありますが、3つ達成をしました。順に簡単に説明します。

1つ目は農業の分野で、売れるものづくり・西蒲ブランドの推進に向けて、事業者の方、あるいは学校などと連携事業を13件実施しました。認知度の向上に努めたとともに、加工業者から大口の注文が入るなど、具体的な販路の拡大につながったものと考えています。また、農地の多面的機能の維持向上に向けて、活動組織の広域化の推進に取り組み、目標を達成することができました。

2つ目は観光の分野です。区内の三次交通として、にしかん観光周遊ぐる〜んバスを4月の下旬から土・日・祝日に運行し、雑誌やラジオ、テレビなど様々な媒体を通じて積極的にPRを行い、認知度と利用者数の向上を図りました。収支率は目標を達成しましたが、利用者数は例年にない猛暑、10月の悪天候もあり、わずかながらですが、目標には及びませんでした。

3つ目は防災の分野です。すべての中学校へ防災学習の支援を行い、生徒の防災に対する関心度の向上を図りました。アンケートの結果からも、多くの生徒の関心が高まったことがうかがえました。

4つ目は地域包括ケアについてです。「地域の茶の間」と住民主体のサービスを合計6件、新たに創出をすることができました。

5つ目は健康寿命の延伸についてです。健康教室など様々な取り組みを通じ、区民の皆さまの健康づくりへの関心や意識向上に努めたものです。参加者の総数は目標には届きませんでした。高校の文化祭や小・中学校での歯科健康教育など、若い世代の参加者が増えました。

4ページをご覧ください。最後に、今後の方向性です。当然ながら、5つの項目のいずれも、単年度の取り組みだけで課題が解決するものではありません。記載のとおり、引き続き、今後も推進・促進に努めるということで総括としたいと考えています。

次に資料の3-2をご覧ください。令和6年度の組織目標です。令和5年度と比べて記載の方法が変わっておりますがご了承ください。

まずは、組織の目的と方向性です。区ビジョンまちづくり計画に掲げた「区の将来像」と「目指す区のすがた」の実現に向けて、区民の皆さまとともに地域一丸となって各種施策を実施してまいります。

次に中ほどの組織目標をご覧ください。記載のとおり、1から5まで重点目標を設定し、令和6年度も取り組んでまいります。5つの内容は、令

	<p>和 5 年度と基本的に同じとしておりますが、1 月 1 日に発生した、令和 6 年能登半島地震を踏まえ、順番の入れ替えをしております。上から、防災、農業、観光、地域包括ケア、健康寿命の延伸です。</p> <p>この重点目標をしっかりと達成することで、区の将来像に掲げている「豊かな自然、歴史と文化のかおりに満ちあふれ、人と人とがたたかきつながるまち」という、より魅力的な西蒲区となるよう、区役所一丸となって、そして、区民の皆さまと一緒に、今年度も取り組みを進める所存です。</p> <p>よろしく申し上げます。私からは以上です。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。今ほどの件について、ご意見・ご質問はございますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>報告 (1) を終了します。</p> <p>続きまして、報告 (2) 「西蒲区区ビジョンまちづくり計画 実施計画について」です。地域総務課長、お願いします。</p>
<p>事務局 (高橋地域総務課長)</p>	<p>地域総務課長の高橋です。区ビジョンまちづくり計画 第 1 次実施計画の年度評価について説明します。資料 4 をご覧ください。</p> <p>西蒲区区ビジョンまちづくり計画は、新潟市総合計画である、新潟市総合計画 2030 の一部を構成する区ビジョン基本方針の実現に向け、具体的な取り組みを示すまちづくり計画で、期間は令和 5 年から令和 12 年までの 8 年間です。</p> <p>実施計画は、資料の 1 ページ目にもあるように 8 年間の期間を 4 分割しており、第 1 次・第 2 次・第 3 次・第 4 次と、2 年に一度、実施計画を立てて取り組み、執行管理を行っていくものです。</p> <p>今回は、第 1 次実施計画の初年度である、令和 5 年度の事業の評価を行いました。</p> <p>次ページをご覧ください。第 1 次実施計画に位置づけた 108 つの取り組みの年度評価について、5 つの「目指す区のすがた」ごとに掲載しています。「魅力あふれる農水産物を供給するまち」「観光とスポーツ・レクリエーションのまち」「歴史と文化が生き続けるまち」「人が行き交い、にぎわいと活力があふれるまち」「人の和でつながる安心・安全なあたたかいまち」の 5 つの区分でそれぞれ事業を振り分けています。</p> <p>「R5 取り組み達成度」は、設定した工程または数値目標が達成されているかどうかを示したものです。右下の全体をご覧ください。108 つの取り組みのうち、「達成」「一部達成」「未達成」ということで評価を表の中に記載しております。</p> <p>「達成」が 88 事業で全体の 81.5 パーセント、「一部達成」が 20 事業で 18.5 パーセント、「未達成」は 0 事業となっております。一部達成の事業の原因としては、悪天候の影響によるイベント参加者数の減少などが挙げられます。</p> <p>次のページからは、108 つある取り組みについて、個別の取り組み状況</p>

	<p>が一覧できる掲載となっています。こちらは 27 ページほどありますので、後ほどご確認くださいと思います。</p> <p>説明は以上です。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>高橋課長、ありがとうございました。今ほどの説明について、なにかご意見・ご質問はございますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>報告 (2) を終了します。</p> <p>次に報告 (3) 『学びと体験でつながろう西蒲区』プロジェクトチームミーティング』についてです。4月 25 日に第 3 回プロジェクトチームミーティングが開催されましたので、会議概要をプロジェクトチームの古島リーダーから報告をお願いします。</p>
<p>(古島委員)</p>	<p>プロジェクトチームリーダーの古島です。4月 25 日にプロジェクトミーティングを開催しましたので、資料に基づいて説明します。</p> <p>初めに、業務委託についてです。ステージや音響・会場設営および駐車場整理については、外部に業務委託することとしました。</p> <p>次に、シャトルバスの運行についてです。社会実験の位置づけとして、中之口出張所～潟東出張所～JR 巻駅～城山運動公園と、升潟地域～西川出張所～JR 越後曾根駅～城山運動公園の 2 本を運行する予定とし、業者から見積りを取った後に、再度検討することとしました。</p> <p>次に、ステージ出演者です。出演団体および、パフォーマンスの時間について、資料記載のとおり決定しました。今後、各コミ協宛てに出演団体の推薦依頼をする予定です。参考資料として、事業概要を配布していますので、コミ協から選出されている委員の皆さまは、内部で情報を共有していただき、出演団体の推薦にご協力くださいますようお願いいたします。</p> <p>次に、チラシの配布です。これまでの提案事業の実績をもとに、2万 5,000 枚印刷し、全戸配布や小・中学校への配布をすることとしました。</p> <p>次に、今後のスケジュールについてです。必要物品数は借用依頼の関係上、5 月末までに確定させることとしました。また、チラシと運営マニュアルは、7 月中に素案を作成することとしました。</p> <p>次に、共通業務の役割分担についてです。業務効率をよく進めるため、プロジェクトチームメンバーを広報企画部・物品調達部の 2 つの部門に分けることにしました。メンバーについては資料をご覧ください。また、今後プロジェクトチームのメンバー以外の皆さまからも、ご協力をいただくものもありますので、ご協力をよろしくをお願いします。</p> <p>最後に、イベント名についてです。本田委員から「学びと体験でつながろう西蒲区」ではどのようなイベントなのかが伝わりづらいのではないかと、という意見がありました。プロジェクトチームのメンバーで検討した結果、イベント名を「学びと体験でつながろう にしかんライフフェスタ^タ田」、フェスタの「タ」は田んぼの田ということで意見がまとまりました。</p> <p>イベント名は、すでに本会議で承認を得て決定しているものですので、</p>

	変更をしてよいかどうか、再度この場で協議をいただきたいと思います。
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。前回、本会議と部会の後にプロジェクトチームミーティングを開催し、本日もまた会議を開催する予定です。</p> <p>今ほど説明があった、イベント名の変更について、皆さまご意見いかがでしょうか。よろしければ、拍手で承認していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
(会場)	(拍手)
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。では、イベント名は「学びと体験でつながろうにしかんライフフェス田」ということでお願いします。</p> <p>全体を通して、なにかご質問・ご意見はございますでしょうか。よろしいでしょうか。初めての3部会合同の事業ですので、進めていく中で変更の必要があれば、都度説明して協議しながら、準備できればと思います。報告(3)を終了します。</p> <p>次に、資料はないのですが、私から2つ報告があります。</p> <p>まず、新潟市西蒲区内体育施設指定管理者申請者評価会議委員の推薦依頼が、5月22日付けで新潟市長から西蒲区自治協議会会長宛てに来ております。対象施設が、城山運動公園の体育施設と、中之口地区の体育施設とのことで、先日、会長・副会長で協議し、中之口の本田委員にお願いしたいと思っております。</p> <p>もう1点、5月27日付けで、新潟市岩室民俗史料館指定管理者申請者評価会議委員の推薦依頼も来ており、岩室なので田中副会長という案もあったのですが、ぜひ女性の委員をととのことで、近隣の漆山の栗原委員にお願いしたいと思います。</p> <p>皆さまにもご承知いただきたいと思います。よろしく申し上げます。</p> <p>次に、その他、西蒲区の課題・地域の情報などです。</p> <p>初めに、本田委員より、公共施設のトイレの廃止について発言の申し出がありましたので、お願いします。</p>
(本田委員)	<p>中之ロコミ協の本田です。各公共施設のトイレ改修についてです。</p> <p>以前この場で、中之口の高齢者支援センターの廃止について話があり、その時から始まった内容になります。この3月末で中之口の高齢者支援センターが終わりになり、地域の茶の間に移るという説明があったのですが、現状としては、支援センターを利用していた30人程度のうち、4~5人ぐらいが毎週やっている地域の茶の間に参加しているそうです。</p> <p>地域の茶の間は、中之口地区公民館が会場なのですが、支援センターを利用していた方々も含めて全員で利用すると、利用者30人ほどとボランティア30人ほどになります。</p> <p>中之口地区公民館のトイレは、女子トイレは4つあり、和式トイレが2つと、洋式トイレが2つです。利用が増えるとトイレが混み合うようになるので、そうするとやむなく和式トイレを使わざるを得なくなり、利用者の負担感や、トイレ使用後のボランティアの方の掃除の負担につながって</p>

	<p>しまっています。</p> <p>中之口地区公民館は避難所にもなっているので、先を見据えて、和式から洋式に変えていただき、洋式トイレをもう1か所増やしていただきたいという希望です。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>今ほど説明がありましたが、個別案件だと全体で取り上げることはなかなか難しいと思いますが、皆さまが利用されている公共施設も建物が古く、和式がかなり多い状況だと思います。</p> <p>全部壊して改修するとかかなりのお金がかかるとは思います。簡易的に和式から洋式に変える方法もあると思います。中之口だけに限らず、区として検討できることがあればお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
<p>事務局 (高橋地域総務課長)</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>施設については、皆さまもご存じのとおり、各地区において関連施設がかなり多いと思います。トイレについても、洋式の方が今のライフスタイルに合うようになってきていると思います。トイレの故障といった個々の事案のタイミングを見て、検討したいと思いますが、公民館等にもご意見を伝えます。ご意見ありがとうございました。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>利用者目線のこういった情報を地域総務課へお伝えすることで、全部が全部すぐ解決できるというわけではないと思いますが、状況が分かると思いますので、今後も何かありましたら、よろしくお願ひします。</p> <p>次に、田中副会長より、矢川灯籠流しについて説明をお願いします。</p>
<p>(田中(弘)委員)</p>	<p>配布しましたチラシをご覧ください。矢川の灯籠流し、岩室温泉の初夏の風物詩というところまで、地域において育ててきました。</p> <p>今年は6月8日(土)に実施します。現地での俳句優秀作品の表彰式に加えて、岩室中学校の吹奏楽部が花を添えてくれることになりました。午後7時ぐらいから大小合わせて400基ほど、灯籠が流れてまいりますので、お時間ある方はぜひご観賞ください。よろしくお願ひします。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。なにかご質問はございますでしょうか。</p> <p>ぜひいろいろな方にPRしていただけるとありがたいです。よろしくお願ひします。</p> <p>次に、古島委員より、緑の音楽祭について説明をお願いします。</p>
<p>(古島委員)</p>	<p>ありがとうございます。緑の音楽祭のチラシをご覧ください。</p> <p>7月13・14日で、初めて前夜祭ということで、ジャズナイトを開催することになりました。例年どおり、1,500人程度の規模で行いたいと思います。今年は、西川出張所の前の西川コミュニティーセンター駐車場が会場です。出演者は5才から86才まで、約200名ぐらいです。キッチンカーなど16店舗が出て、にぎわうと思っています。</p> <p>にしかん応援も募集しており、会場の美化や迷子がいらないかどうか、落</p>

	<p>し物がないかというところに携わっていただければなと思っています。皆さまご多忙だと思いますが、応援隊またはお客様として、ぜひお越しく下さい。よろしくお願いいたします。</p> <p>おいしさ、楽しさ、ふつつつということで、「ふつつ」の意味が分からない場合は西川コミ協の西川弁大全集というものがありますので、そこを見ていただけると分かるかと思います。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。なにかご質問はございますでしょうか。</p> <p>こちらも応援隊を募集していますので、先ほどのまき夏まつりと同様に、ぜひ、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>最後にもう1枚、角田コミ協の小林委員から浜スマイルクラブのチラシの配布がありましたので、こちらもお覧いただき、周知等ぜひよろしくお願いいたします。</p> <p>そのほか、発言の事前申し出はありませんが、なにかございますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>本日は市長にもお越しいただき、いろいろな話ができかと思いますが、自治協議会としても議論したいことを副会長と相談して、皆さまで勉強したりする時間がもしあれば、意見交換したいと思っていますので、その時はご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは今日は、小林副会長が閉会のあいさつです。</p>
(小林(ア)委員)	<p>皆さま、大変ご苦勞さまでした。聞いているだけになってしまったと少し感じるような懇談でした。</p> <p>そして、にしかん応援隊ですが、なかなか申し込みがないだろうと予測はしていたのですが、楽しいことやおいしいことがなければ集まるわけがないのです。ということで、皆さまなにかいいアイデアをお願いします。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。それでは進行を事務局へお返しします。</p>
事務局 (藤田補佐)	<p>ありがとうございました。最後に事務局から、次回の西蒲区自治協議会についてご連絡します。</p> <p>今回は、6月27日(木)の午後に、本日と同じく巻地区公民館で開催予定です。ご案内については、のちほど改めて送付しますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>また、このあと、各常任部会を開催します。会場は、総務部会が2階の実習室、保健福祉部会が2階の研修室、まちづくり・産業部会が3階の視聴覚室です。このあと、ご移動をお願いします。なお、常任部会の開始時間は、10分後の3時25分からを予定しています。お手数ですが、お手元の名立てを持ってご移動ください。</p> <p>それでは、以上をもちまして、令和6年度第2回西蒲区自治協議会を終了します。お忙しいところ大変ありがとうございました。</p>